

新入生の皆さんへ

『知的生産活動を支援する情報発信型図書館』

図書館長 下村 秀則



東北地方太平洋沖地震で被災された方々に謹んでお見舞い申し上げます。

さて、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大きな希望と新たな決意をもって大学生生活の第一歩を踏み出されたことと思います。いよいよこれから待ち望んでいた本格的な勉強が始まりますね。自ら問題意識を持って課題を発見し、それに挑戦することが強く求められます。その際に、さまざまな課題についての情報を得る手段として、インターネットを利用することが多くなるでしょう。ネット検索を用いると、世界中から必要な情報を瞬時に入手することができて大変便利です。しかし、ネット上の情報は、発信源が不明なものや、内容的に正確さや信頼性に欠けるものもあり、また、情報量としては多くても、検索でヒットした内容はとかく断片的になりがちで、得た情報を大きな文脈の中に的確に位置づけるためには、その内容について他の手段で確認したり補ったりする必要が生じます。

膨大な量のネット情報の中から適切な情報を引き出して活用するためには、その前提として、情報の真偽を見極める力や、広い視野に立って問題の本質を捉え妥当な判断を下す力が極めて大切になります。こういった力やバランスのとれた知識を身につけるためには、やはり時空を超えて多くの人に読み継がれてきた古今東西の書物を繙かざるを得ません。

もちろん、皆さんの中には有益な情報や知識を得たり、知性に磨きをかけるだけではなく、さまざまな書物を通して、勇気や大きな感動をもらったり、充実した豊かな人生を送るための心の拠り所となる指針を身につけたいと思っている人もいることでしょう。それこそ自分の人生を変えてしまうほどの本との出会いがあるかもしれないですね。

そういった皆さんのさまざまな要望に応え、教育・研究上の知的生産活動を支えているのが、まさしく大学図書館なのです。ここでは、紹介かたがた簡単に本学図書館の特色について二三触れてみたいと思います。

本学図書館は、本館とアジア関係図書館（9号館）から成り、所蔵する図書は52万冊を超えています。まさしく、知識の宝庫です。外国語大学にふさわしく、英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、ブラジルポルトガル語、中国語、日本語、イタリア語などの専攻言語をはじめ、多岐にわたる言語圏の言語・文化・地域研究のための資料が豊富に集められています。また、第5閲覧室（8号館地下）には、英語の多読用読本（Graded Readers）、映画化された原作のペーパーバック、英語・スペイン語、英語・フランス語といった2言語同時学習用の図書（Dual Language Books）などを多数揃えていますので、大いに活用して語学力の向上に役立てていただきたいと思います。

次に紹介するのは、本学図書館が独自に作成している蔵書の主題別書誌データベースです。これは、利用者の皆さんがより効率的に目当ての本を探し出すことができるように、言語・地域研究関連、世界文学関連、日本文学関連、授業対応関連など12のカテゴリー別に、30を超える主題について作成された図書検索データベースです。皆さんの自宅からでも図書館ホームページを通して手軽にご利用いただけます。「世界の言語と国際地域研究」「あなたに役立つ言語圏別資料検索」「国際教養学を学ぶ」などテーマ毎に関連する図書がリストアップされていて大変便利です。図書館を最大限に活用し、実りある豊かな知的生産活動を営むための第一歩として、一人でも多くの人に「新入生歓迎ライブラリー・ツアー」に参加していただきたいと思います。

この他に、本学図書館には世界の稀覯本が数多く所蔵されています。それらについては、図書館ホームページの「スペシャルコレクション」を開いて、どのようなものがあるのか是非ともご覧になって下さい。また、折々に展示会を開催していますので、くれぐれもその機会をお見逃しなく。

しもむら ひでのり（教授・英語教育）